

令和 7 年度宮城県水防協議会 会議録

日 時	令和 7 年 5 月 2 9 日（木） 午後 1 時 3 0 分から午後 2 時 3 0 分まで
場 所	宮城県行政庁舎 1 1 階 第二会議室
出 席 者	別添出席者名簿のとおり
配付資料	資料 1 ～ 7

1 出席者紹介	司会（県土木部河川課 小野寺副参事兼総括課長補佐） （別添出席者名簿により紹介した。）
2 あいさつ	小林副知事 令和 7 年度宮城県水防協議会の開会に当たり、一言挨拶を申し上げます。 本県の河川及び海岸行政の推進につきましては、日頃格別の御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、本日は大変お忙しい中、御出席を賜り、誠にありがとうございます。 はじめに、昨年 7 月の大雨により、秋田県や山形県など日本海側を中心に大きな被害が発生するとともに、令和 6 年奥能登豪雨では、大規模地震災害後の複合災害が発生しました。これらの災害により、現在も厳しい生活を強いられている被災者の方々に、改めてお見舞いを申し上げます。 県では、これらの被災地へ職員を派遣するなど、東日本大震災の経験を十分に活かし、被災地の一日も早い復旧・復興に向けた支援に取り組んでおります。 本県においても、平成 2 7 年 9 月関東・東北豪雨、令和元年東日本台風、令和 4 年 7 月の大雨などにみられますように、水(みず)災害が激甚化・頻発化しているところです。 このような水(みず)災害から住民の生命・財産を守るため、あらゆる関係者が協働して、ハード・ソフト一体となった流域治水の取組を推進することがますます重要となっております。 本日御審議いただく「宮城県水防計画」は、洪水等による県土への被害軽減のため、各河川における水防上必要な監視や予報、関係機関との通信連絡及び水防団の活動等に関する大綱を定めたものです。 今年度は、水防関係各所からいただいた御意見を反映した内容修正のほか、北上川(きたかみがわ)水系(すいけい)夏川(なつかわ)の基準観測所及び受け持ち区間の見直しや基準水位の変更、洪水浸水想定区域の指定の追加、などを計画に反映することとしております。 本県にとりまして極めて重要な計画でありますので、委員の皆様におかれましては、専門的な見地から、忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げます。

	結びに、本県では引き続き水防体制の充実に努めてまいりますので、今後とも御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。 (小林副知事は所用のため退席。)
3 定 足 数 の 確 認 等	司会（県土木部河川課 小野寺副参事兼総括課長補佐） 水防協議会条例第4条第2項に規定する協議会の開催要件を満たしていることを報告。また、情報公開条例第19条第1項に基づき、公開とすることを説明。以後、県土木部の早坂理事が座長を務めることとなった。
4 議 事	座長（県土木部 早坂理事） 議事の内容が、「令和7年度宮城県水防計画について」であることを説明し、事務局に対して内容の説明を要求。
5 説 明	事務局（県土木部河川課 千葉課長） 「資料2」の令和7年度宮城県水防計画書案の変更概要について、「資料1」に基づき、説明。 座長（県土木部 早坂理事） 今の説明内容に、質問・意見等はないか。
6 質 疑	質疑なし。
7 議事承認	座長（県土木部 早坂理事） なければ、原案のとおり議事を承認することとしてよいか。 異議がないので、議事を承認することとする。
8 報告事項	司会（県土木部河川課 小野寺副参事兼総括課長補佐） 座長から司会進行を事務局に委ねられ、事務局より次第のとおり、報告事項について説明することを伝達。 事務局（県土木部河川課 千葉水政班長） 「資料3」に基づき、（1）水防警報等の電子メール化の運用について報告がなされた。 司会（県土木部河川課 小野寺副参事兼総括課長補佐） （2）令和6年度水防警報発令及び洪水予報発表状況については、「資料4」のとおりである旨報告がなされた。

9 情報提供	事務局（県土木部河川課 佐藤企画調査班長） 「資料 5」に基づき、（3）流域治水の推進と特定都市河川の指定について報告がなされた。 司会（県土木部河川課 小野寺副参事兼総括課長補佐） 事務局説明に対する質疑を確認したが、質問がなかったため、次第 5（1）の情報提供に入ることを伝え、仙台管区气象台気象防災部予報課の吉田水害対策気象官に説明を依頼。 情報提供（仙台管区气象台気象防災部予報課 吉田水害対策気象官） 「資料 6」及び仙台管区气象台追加資料に基づき、防災気象情報の改善内容について説明があり、本内容が水防計画書に反映される旨説明された。また、この夏の天候の見通しについて説明が行われた。 司会（県土木部河川課 小野寺副参事兼総括課長補佐） 仙台管区气象台の情報提供に対する質疑を確認したところ、以下の質問があった。 質問（東北地方整備局河川部水災害予報センター 佐藤センター長） 6 月から 8 月の天候の見通しについては、我々河川管理者としては非常に気にしており、近年、特に令和以後において、日本海側の前線に伴う大雨が顕著に見られるところである。令和元年東日本台風や宮城県の令和 4 年の洪水災害が思い浮かぶが、今回の 3 か月予報において、台風が例年より増となるか、平年並みとなるかについて、予測できるものなのか伺いたい。 回答（仙台管区气象台気象防災部予報課 吉田水害対策気象官） 資料 6 の 8 ページにあるように、太平洋高気圧が西に張り出し、この縁を回って暖かく湿った空気の流入が見込まれる。暖かく湿った空気が東シナ海から日本海側に流入した場合は、前線の活動を活発化させて日本海側を中心に大雨になることがある。 台風については、例年より多い、少ないといった予報はしていない。近年の梅雨期においては、日本各地で梅雨前線による大雨が発生しており、昨年 7 月 25 日から 26 日にかけては山形県と秋田県を中心に大雨となり、山形県に大雨特別警報が発表された。岩手県においても台風第 5 号が上陸するなど、要因は異なるが、梅雨前線の活発化や台風等により、東北地方においても大雨がもたらされているところであり、最新の情報に留意いただきたい。
---------------	---

10 質疑・閉会	司会（県土木部河川課 小野寺副参事兼総括課長補佐） 追加の質問がなかったことから、次第５（２）の情報提供に入ることを伝え、東北地方整備局河川部水災害予報センターの佐藤センター長に説明を依頼。 情報提供（東北地方整備局河川部水災害予報センター 佐藤センター長） 「資料７」に基づき、新洪水予警報等作成システムの運用開始及び水防協力団体の指定について説明が行われた。 司会（県土木部河川課 小野寺副参事兼総括課長補佐） 東北地方整備局の情報提供に関する質疑を確認したところ、委員からの質問はなかったが、事務局（千葉河川課長）より、水防団員の確保対策及び水害発生前後の迅速かつ確実な情報伝達について、県としても継続して取り組む旨の方針が示された。 司会（県土木部河川課 小野寺副参事兼総括課長補佐） 全体を通しての質疑等の有無を確認したが、質疑等は出されなかったため、事務局より委員に異動等が生じた場合の県河川課への連絡について依頼し、閉会した。 以上
----------	---

令和7年度宮城県水防協議会 委員・出席者名簿

開催日: 令和7年5月29日(木) (敬称略)

役職名	現職名	氏名	備考
会長	宮城県知事	村 井 嘉 浩	代理:副知事 小林 徳光
委員	東北地方整備局河川部長	林 雄 一 郎	代理:河川部水災害予報センター長 佐藤 克彦
〃	仙台管区气象台気象防災部長	岩 村 公 太	
〃	東北運輸局総務部長	會 田 光	代理: 総務部安全防災・危機管理調整官 関澤 真
〃	陸上自衛隊第22即応機動連隊長	山 下 正 浩	代理:第22即応機動連隊・第3科 運用訓練幹部 安達 悟
〃	日本放送協会仙台放送局コンテンツセンター長	吉 田 賢 治	
〃	東日本旅客鉄道株式会社東北本部鉄道事業部設備ユニットリーダー	佐 々 木 政 人	代理:仙台土木設備技術センター上席GL 阿部 光三
〃	東日本電信電話株式会社宮城事業部宮城支店設備部長	水 田 宗 徳	代理:設備部災害対策室長 佐藤 亘
〃	社会福祉法人萩の里理事長	阿 部 仁 美	
〃	公益財団法人宮城県消防協会会長	佐 藤 孝 義	代理:事務局長 丹野 雅光
〃	大和町消防団副分団長	蜂 谷 澄 江	
〃	宮城県警察本部長	杉 本 伸 正	代理:警備部警備課災害対策室長 豊川 弘樹
〃	宮城県復興・危機管理部長	高 橋 義 広	代理:防災推進課総括課長補佐 佐藤 一樹
〃	宮城県保健福祉部長	志 賀 慎 治	代理:参事兼保健福祉総務課長 大泉 美津子
〃	宮城県土木部長	齋 藤 和 城	代理:土木部理事兼副部長 早坂 孝行
委員 随 行	仙台管区气象台気象防災部予報課水害対策気象官	吉 田 洋 一	資料説明者
(事務局)	宮城県土木部河川課長	千 葉 周 二	
〃	宮城県土木部河川課 副参事兼総括課長補佐	小 野 寺 大 作	
〃	〃 主任主査(水政班長)	千 葉 圭 子	
〃	〃 技術補佐(企画調査班長)	佐 藤 誠	